

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月11日

上場取引所 東大

上場会社名 中外鉱業株式会社
コード番号 1491 URL <http://www.chugaikogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 道明

問合せ先責任者 (役職名) IR センター室長 (氏名) 桜庭 勲

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

TEL 03-3201-1541

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	16,222	△26.4	△590	—	△615	—	△627	—
21年3月期第2四半期	22,040	74.5	2,290	—	2,266	—	△346	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△2.17	—
21年3月期第2四半期	△1.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	9,655	8,807	91.2	30.40
21年3月期	9,976	9,435	94.6	32.57

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 8,807百万円 21年3月期 9,435百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,500	△8.5	△550	—	△610	—	△630	—	△2.18

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	289,747,982株	21年3月期	289,747,982株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	84,876株	21年3月期	82,738株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	289,664,178株	21年3月期第2四半期	289,668,157株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年5月15日に公表いたしました連結業績予想は、平成21年11月6日に修正しており、開示の数値は3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)記載のとおりであります。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項について、及び上記1に係る業績予想の具体的修正内容は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融危機に端を発した世界的な景気後退局面から脱し、輸出や生産の持ち直し等により回復の兆しが見えてきたものの、企業収益の減少に伴う設備投資の減少、雇用情勢の悪化など依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもとで、当社グループ（当社及び連結子会社）は貴金属市況において、金・銀・プラチナ等の貴金属価格は回復基調にあるものの、景気低迷による需要の減少、為替相場の変動等から業績は低調に推移いたしました。不動産市況においても、一部で不動産価格の底打ちの兆候がみられるものの、資金調達環境の改善の兆しは見られず、依然厳しい環境のもと推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は16,222,004千円（前年同期22,040,843千円）、営業損益は590,851千円の損失（前年同期は2,290,042千円の利益）、経常損益は615,937千円の損失（前年同期は2,266,618千円の利益）、四半期純損益は627,934千円の損失（前年同期は346,653千円の損失）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

貴金属事業におきましては、東京工場（大田区京浜島）において、生産効率の高い金精製設備の増設を完了し、平成21年4月から月産1,000キログラムの金生産体制が整いました。これにより金生産量は前年同期を上回ったものの、増産設備に見合う適正な原料集荷等、安定操業の維持が困難であったことに加え、固定費の増加等が影響し業績は低迷いたしました。

この結果、売上高は15,606,916千円（前年同期16,272,996千円）、営業損益は173,081千円の損失（前年同期53,002千円の損失）となりました。

不動産事業におきましては、首都圏分譲マンション等のディスカウントが進んだことに加え、低金利の継続と大幅に拡充された住宅ローン減税により、一部で在庫調整が進捗するなど好転の兆しが見られるものの、企業収益の悪化に伴う主要都市における空室率の上昇、賃料水準の下落等から、不動産市況は依然厳しい環境のもと推移いたしました。

この結果、売上高268,236千円（前年同期4,824,438千円）、営業損益は186,077千円の損失（前年同期2,852,728千円の利益）となりました。

機械事業におきましては、景気刺激策を基に新興国など一部で景気悪化の底打ちが見られるものの、世界的な景気後退による工作機械の受注は依然低迷を続けており、中古工作機械においても企業収益の悪化に伴う設備投資抑制の影響を大きく受け、業績は低迷いたしました。

この結果、売上高は256,164千円（前年同期943,409千円）、営業損益は135,114千円の損失（前年同期268,611千円の損失）となりました。

投資事業におきましては、有利で安定した運用を基本とし、有価証券等に投資を行っており、営業損益は90,687千円の利益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末における総資産の残高は、前連結会計年度末より321,457千円減少し、9,655,276千円となりました。

増加の主なものは、現金及び預金の増加（1,830,190千円から2,928,170千円へ1,097,979千円の増加）、商品及び製品の増加（393,672千円から609,281千円へ215,608千円の増加）、仕掛品の増加（473,852千円から673,651千円へ199,799千円の増加）であります。

減少の主なものは、仕掛不動産の減少（1,463,178千円から1,060,010千円へ403,168千円減少）、預け金の減少（1,762,263千円から250,000千円へ1,512,263千円減少）であります。

当第2四半期末における負債の残高は、前連結会計年度末より306,559千円増加し、848,131千円となりました。

増加の主なものは、長期借入金の増加（2,625千円から404,132千円へ401,507千円の増加）であります。

減少の主なものは、未払金の減少（189,015千円から55,404千円へ133,610千円の減少）であります。

当第2四半期末における純資産の残高は、前連結会計年度末より628,016千円減少し、8,807,145千円となりました。

減少の主なものは、利益剰余金の減少（△3,316,168千円から△3,944,102千円へ627,934千円の減少）であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末より664,283千円減少し、2,928,170千円となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」

営業活動の結果使用した資金は1,034,073千円(前年同四半期は4,618,178千円の獲得)となりました。これは主に税引等調整前四半期純損益が617,651千円の損失、預け金の増加額250,000千円があったことによるものであります。なお、前連結会計年度末において預け金の残高は証券会社預け金として現金同等物の残高に含めて表示していましたが、当第2四半期会計年度末においては預け金の増加額として表示しております。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」

投資活動の結果使用した資金は87,819千円(前年同四半期は77,718千円の使用)となりました。これは主に有価証券の償還による収入10,000千円に対し、有形固定資産の取得による支出83,826千円、長期未収入金の増加による支出19,664千円があったことによるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」

財務活動の結果得られた資金は457,609千円(前年同四半期は87,876千円の使用)となりました。これは主に長期借入金による収入500,000千円に対し、長期借入金の返済による支出39,693千円があったことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、平成21年5月15日公表いたしました平成22年3月期の業績を修正いたしました。

具体的な内容については、平成21年11月6日公表の「業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ」を参照ください。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5 . 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,928,170	1,830,190
受取手形及び売掛金	1,810,151	1,762,514
有価証券	4,000	14,000
商品及び製品	609,281	393,672
仕掛品	673,651	473,852
原材料及び貯蔵品	44,830	48,732
仕掛不動産	1,060,010	1,463,178
預け金	250,000	1,762,263
その他	148,108	70,127
貸倒引当金	2,762	2,770
流動資産合計	7,525,443	7,815,762
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	449,869	446,203
減価償却累計額	131,048	116,851
建物及び構築物(純額)	318,821	329,352
機械装置及び運搬具	524,053	512,039
減価償却累計額	236,298	202,592
機械装置及び運搬具(純額)	287,755	309,446
土地	826,811	826,811
その他	81,577	77,124
減価償却累計額	54,773	50,865
その他(純額)	26,803	26,259
有形固定資産合計	1,460,191	1,491,870
無形固定資産		
地上権	365,000	365,000
その他	7,182	7,654
無形固定資産合計	372,182	372,654
投資その他の資産		
投資有価証券	101,946	101,946
長期未収入金	421,657	401,993
出資金	9,205	9,205
敷金及び保証金	162,185	163,810
その他	22,703	21,503
貸倒引当金	420,237	402,010
投資その他の資産合計	297,459	296,447
固定資産合計	2,129,833	2,160,971
資産合計	9,655,276	9,976,734

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,480	12,965
短期借入金	47,000	49,000
1年内返済予定の長期借入金	96,376	37,576
未払金	55,404	189,015
未払法人税等	25,285	36,224
債務保証損失引当金	38,302	89,264
その他	51,304	33,255
流動負債合計	324,154	447,300
固定負債		
長期借入金	404,132	2,625
長期未払金	75,147	81,483
金属鉱業等鉱害防止引当金	7,033	7,033
預り敷金保証金	3,130	3,130
債務保証損失引当金	34,534	-
固定負債合計	523,977	94,271
負債合計	848,131	541,571
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,782,064	12,782,064
利益剰余金	3,944,102	3,316,168
自己株式	30,816	30,734
株主資本合計	8,807,145	9,435,162
純資産合計	8,807,145	9,435,162
負債純資産合計	9,655,276	9,976,734

(2) 四半期連結損益計算書
 (第 2 四半期連結累計期間)

(単位 : 千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 9 月30日)
売上高	22,040,843	16,222,004
売上原価	18,868,785	16,161,419
売上総利益	3,172,058	60,584
販売費及び一般管理費	882,015	651,436
営業利益又は営業損失 ()	2,290,042	590,851
営業外収益		
受取利息	735	215
国庫補助金収入	9,618	9,473
違約金収入	-	7,000
その他	10,665	5,970
営業外収益合計	21,019	22,658
営業外費用		
支払利息	1,102	3,110
休山管理費	39,905	41,683
その他	3,434	2,951
営業外費用合計	44,443	47,745
経常利益又は経常損失 ()	2,266,618	615,937
特別利益		
債務保証損失引当金戻入額	20,348	19,664
貸倒引当金戻入額	6	103
特別利益合計	20,354	19,767
特別損失		
貸倒引当金繰入額	20,414	18,243
仕掛不動産評価損	1,804,083	-
たな卸資産評価損	97,139	-
債務保証損失引当金繰入額	-	3,237
減損損失	698,429	-
その他	3,692	-
特別損失合計	2,623,760	21,481
税金等調整前四半期純損失 ()	336,786	617,651
法人税、住民税及び事業税	10,888	10,283
法人税等合計	10,888	10,283
少数株主損失 ()	1,021	-
四半期純損失 ()	346,653	627,934

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	336,786	617,651
減価償却費	41,383	51,797
減損損失	698,429	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	20,454	18,219
債務保証損失引当金の増減額(は減少)	20,348	16,426
受取利息及び受取配当金	872	235
支払利息	1,102	3,110
有価証券売却損益(は益)	1,645	-
仕掛不動産評価損	1,804,083	-
たな卸資産評価損	97,139	-
売上債権の増減額(は増加)	103,695	47,636
たな卸資産の増減額(は増加)	2,346,500	8,338
仮払金の増減額(は増加)	100,129	54,140
仕入債務の増減額(は減少)	8,266	2,485
未払金の増減額(は減少)	-	71,232
預け金の増減額(は増加)	-	250,000
その他	1,905	14,133
小計	4,639,513	1,009,151
利息及び配当金の受取額	844	207
利息の支払額	1,102	3,110
法人税等の支払額	21,076	22,017
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,618,178	1,034,073
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	450	-
有価証券の売却による収入	16,988	-
有価証券の償還による収入	-	10,000
有形固定資産の取得による支出	62,728	83,826
無形固定資産の取得による支出	4,455	-
長期貸付金の回収による収入	-	5,000
長期未収入金の増加による支出	20,414	19,664
敷金及び保証金の差入による支出	7,336	257
その他	679	927
投資活動によるキャッシュ・フロー	77,718	87,819
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	-	2,000
長期借入れによる収入	-	500,000
長期借入金の返済による支出	86,623	39,693
配当金の支払額	1,205	615
その他	47	81
財務活動によるキャッシュ・フロー	87,876	457,609
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	4,452,584	664,283
現金及び現金同等物の期首残高	1,191,370	3,592,453
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,643,954	2,928,170

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	貴金属事業 (千円)	不動産事業 (千円)	機械事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	16,272,996	4,824,438	943,409	22,040,843	—	22,040,843
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	14,400	—	14,400	(14,400)	—
計	16,272,996	4,838,838	943,409	22,055,243	(14,400)	22,040,843
営業利益（△は損失）	△53,002	2,852,728	△268,611	2,531,114	(241,071)	2,290,042

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	貴金属事業 (千円)	不動産事業 (千円)	機械事業 (千円)	投資事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	15,606,916	268,236	256,164	90,687	16,222,004	—	16,222,004
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	8,530	—	—	8,530	(8,530)	—
計	15,606,916	276,767	256,164	90,687	16,230,535	(8,530)	16,222,004
営業利益（△は損失）	△173,081	△186,077	△135,114	90,687	△403,585	(187,265)	△590,851

(注) 1. 事業区分は、事業の性質及び業種別に区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品及び事業内容

事業区分	主要製品及び事業内容
貴金属事業	金地金、銀地金、白金地金、パラジウム地金等の生産販売 含金銀非鉄金属の仕入販売
不動産事業	不動産の売買、分譲・賃貸マンションの販売、賃貸、仲介、保守管理
機械事業	各種中古工作機械、鉸金機械等の売買
投資事業	有価証券の保有、売買、運用その他の投資

3. 投資事業は、重要性が増したことから、事業内容をより適切に表示するためセグメント区分することになりました。

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）は、本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）は、海外売上高がないため、該当事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。